

道路防雪施設マニュアル[コンクリート構造編]（平成20年3月版） 正誤表

※（社）北陸建設弘済会発行図書最新の正誤情報につきましては、恐れ入りますが下記の（社）北陸建設弘済会ホームページにてご確認をお願い致します。

トップページ → 販売図書案内 → （社）北陸建設弘済会発行図書 → ログイン画面の「正誤表等」クリック又は <http://www2.hokurikutei.or.jp/cgi-bin/seigohyo/download.cgi>

| 正誤回数 通知年月日 | 頁 | 名 称 | 誤 | 正 |
|------------------|----|---|---|---|
| 第1回 H20.11.26 | 38 | 第3章 スノージャット 3.1.9 主構各部 の設計方 法 9. 谷側受 台パラペ ット周辺 の構造 (4) 水平 押抜せん 断応力度 の照査 ※ α 式 の訂正 (+ (プ ラ ス) の記入 漏れ) | (4) 水平押抜せん断応力度の照査 柱反力による谷側パラペットの水平押抜せん断については、自由縁を有するせん断破壊面の 検討となるため、以下の検討を行う。 $\tau = \frac{H_o}{(2h + b + \frac{\pi}{2}c)c} \leq \tau_s \cdot \alpha \text{ (N/mm}^2\text{)}$ $H_o = H - 2T \text{ (N)}$ $T = n \cdot A_s \cdot \sigma_{ss} \cdot \sin \theta \text{ (N)}$ $\alpha = 0.1 \frac{f}{c} \quad 0.5 \leq 1.0$ <p> τ : コンクリートの押抜せん断応力度 (N/mm²) τ_s : コンクリートの許容押抜せん断応力度 (N/mm²) h : 柱の埋込み深さ (mm) b : 柱の道路縦断方向の幅 (mm) c : 谷側パラペットの有効高 (mm) H : 柱の水平反力 (N) H_o : 水平押抜せん断検討時の設計反力 (N) T : 折曲鉄筋により受け持たれる設計せん断力 (N) (注1) 「落石対策便覧/平成12年6月、日本道協会」に示された配筋を行う。 (注2) 鉄筋の許容引張応力度の領域内で、コンクリートのせん断抵抗が機能すると 仮定した。 n : 谷側受台の谷側パラペットに配置された折曲鉄筋の本数 (本) (注) 柱をとり囲む折曲鉄筋 () を1本とする。 A_s : 折曲鉄筋1本当りの断面積 (mm²) σ_{ss} : 折曲鉄筋の許容引張応力度 (N/mm²) (注) 検討する荷重の状態に応じて、許容値を割増して良い。 θ : 部材軸と折曲鉄筋のなす角 (度) α : 自由縁を有する場合の低減係数 </p> | (4) 水平押抜せん断応力度の照査 柱反力による谷側パラペットの水平押抜せん断については、自由縁を有するせん断破壊面の 検討となるため、以下の検討を行う。 $\tau = \frac{H_o}{(2h + b + \frac{\pi}{2}c)c} \leq \tau_s \cdot \alpha \text{ (N/mm}^2\text{)}$ $H_o = H - 2T \text{ (N)}$ $T = n \cdot A_s \cdot \sigma_{ss} \cdot \sin \theta \text{ (N)}$ $\alpha = 0.1 \frac{f}{c} + 0.5 \leq 1.0$ <p> τ : コンクリートの押抜せん断応力度 (N/mm²) τ_s : コンクリートの許容押抜せん断応力度 (N/mm²) h : 柱の埋込み深さ (mm) b : 柱の道路縦断方向の幅 (mm) c : 谷側パラペットの有効高 (mm) H : 柱の水平反力 (N) H_o : 水平押抜せん断検討時の設計反力 (N) T : 折曲鉄筋により受け持たれる設計せん断力 (N) (注1) 「落石対策便覧/平成12年6月、日本道協会」に示された配筋を行う。 (注2) 鉄筋の許容引張応力度の領域内で、コンクリートのせん断抵抗が機能すると 仮定した。 n : 谷側受台の谷側パラペットに配置された折曲鉄筋の本数 (本) (注) 柱をとり囲む折曲鉄筋 () を1本とする。 A_s : 折曲鉄筋1本当りの断面積 (mm²) σ_{ss} : 折曲鉄筋の許容引張応力度 (N/mm²) (注) 検討する荷重の状態に応じて、許容値を割増して良い。 θ : 部材軸と折曲鉄筋のなす角 (度) α : 自由縁を有する場合の低減係数 </p> |

※ 訂正箇所

$$\alpha = 0.1 \frac{f}{c} + 0.5 \leq 1.0$$